

Press Release

No. 17/2006

T +81-3-5323-7300
F +81-3-5323-7399

www.degussa.co.jp

2006年11月22日

degussa 2006年第3四半期(7-9月)業績発表

RAGグループの一員として堅調な歩み続ける

- 販売量の増加と販売価格の顕著な上昇
- 2006年1-9月期EBIT(金利・税引前利益)は前年同期比17%増
- グループ全体の純利益が大幅増
- 2006年度展望:売上高とEBITともに前年比10%増の見通し

Contact:
館崎 あゆみ
コミュニケーションズT +81-3-5323-7391
F +81-3-5323-7399ayumi.tatezaki@
degussa.com

degussa(本社:ドイツ、デュッセルドルフ)は11月16日(木)にデュッセルドルフにて第3四半期の業績を発表しました。degussaの取締役会長およびRAG社の取締役会メンバーであるクラウス・エンゲルは、「degussaの好業績は2006年第3四半期も継続しています」と述べました。世界的な好景気に後押しされ需要が拡大した結果、すべての地域において業績は好調でした。また、原料価格の高騰は、販売価格の上昇により補われました。

売上高11%増(2006年第3四半期)

2006年第3四半期の売上高は、2005年第3四半期の24億9700万ユーロから27億7600万ユーロへと前年比で11%上昇しました。さらに、2006年1-9月期では14%増加し、82億3200万ユーロに達しました。この増加のうち、7%は販売価格の上昇によるものであり、5%が販売量の増加によるもの、そして残りの2%は連結対象の変更によるものです。

EBIT17%増(2006年1-9月期)

2006年第3四半期のEBITは2億4200万ユーロに達し、前年比(2005年同期は2億1100万ユーロ)および2006年の第1四半期および第2四半期と比較しても(第1四半期:2億1900万ユーロ、第2四半期:2億1800万ユーロ)、顕著な増加を示しています。2006年1-9月期のEBITは17%増加し、6億7900万ユーロに達しました。これは販売価格の上昇、販売量の増加、設備稼働率の改善、そしてコスト削減によるものです。

しかし、原料価格とエネルギーコストのさらなる上昇により、収益の増加は抑えられています。2006年1-9月期のdegussa社内の原料価格指数は、前年同期比で17%上昇しています。同期のエネルギー費も、17%上昇しています。

グループ純利益の大幅増

グループの税引前利益は、2006年1-9月期で18億7000万ユーロと成長しました。営業利益の改善とともに、この増加は主として、建設化学および食品原材料事業の売却に関連する利益に起因するものです。前年は、ファインケミカル事業に関連する減損費により、9億9200万ユーロの損失となりました。少数株主持分控除後のグループの純利益は、前年の5億4200万ユーロの純損失と比較すると、14億8900万ユーロに増加しています。

2006年度の展望：売上高とEBIT前年比10%以上増

エンゲル取締役会長は次のように述べています。「デグサの業績の上向き傾向は、第4四半期も継続すると考えています。通年では、売上高およびEBITに関して、前年の水準を10%超えて上回る結果を期待しています。」

デグサグループ 主要財務データ						
単位： 100万ユーロ	2006年 第3四半期	2005年 第3四半期	前年度比 (%)	2006年 1-9月期	2005年 1-9月期	前年度比 (%)
売上高	2,776	2,497	11	8,232	7,209	14
EBIT	242	211	15	679	579	17
税引前利益	1,345	-682	-	1,870	-392	-
少数株主持分 控除後純利益	1,114	-710	-	1,489	-542	-

デグサはグローバルに展開している世界有数のスペシャリティケミカル企業です。現在、RAGグループの100%子会社である世界のデグサグループの総社員数は約44,000人です。2005年度の年間総売上は118億ユーロで、税・利息控除前利益(EBIT)は9億4,000万ユーロを計上しました。デグサは革新的な製品とシステムソリューションを提供することで、ビジネスの成功には欠かせない貴重な役割を担っています。「クリエイティング・エッセンシャル」-本質を創造する-それが私達デグサの仕事です。